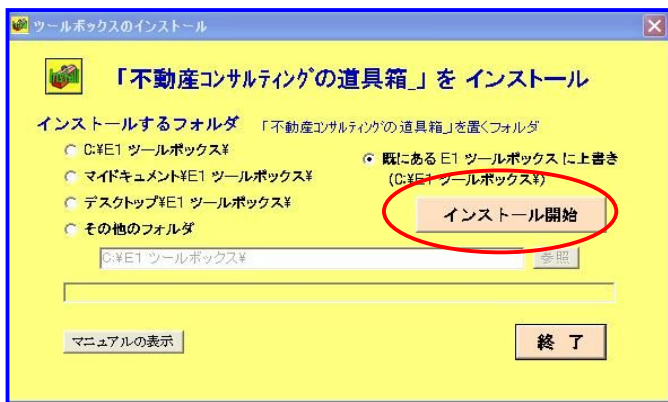


不動産コンサルティングの工具箱 Windows7対応版 インストール及び起動方法

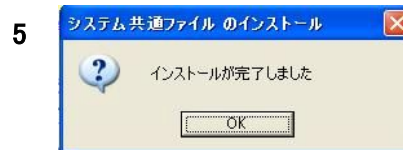
付属のUSB装着キー(Rocky4ND)は、インストール完了後に装着してください

今度のキーはドライバ不要ですが、ソフトのインストール前は作動しません
また、初回使用時はキーが正しく認識されるまで1～2分を要しますのでご注意ください

・プログラムのインストール



- 1 CDをセットしてください
- 2 自動的に左の画面が表示されます
- 3 インストール先を指定します
～Cドライブ(推奨)でよろしければ設定不要
- 4 **インストール開始** を押してください



上のステータスが表示されれば成功です
デスクトップ上に下のアイコンが表示されます



以上でインストールは完了です

USBにRockey4(付属のスティック状のキー)を装着して、このアイコンをダブルクリックすると
プログラムが起動します

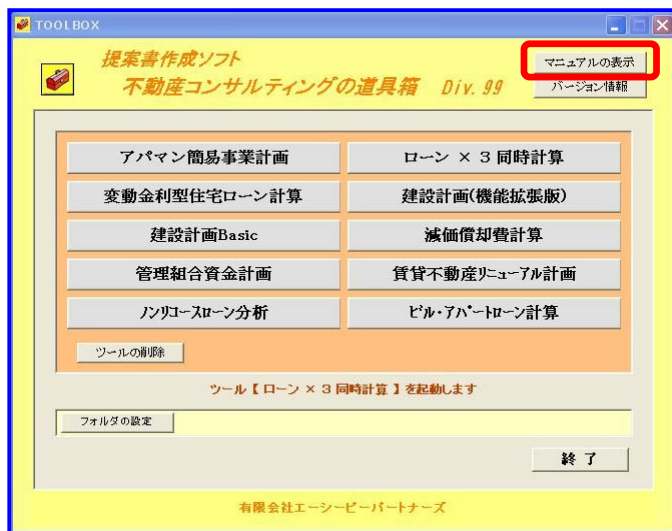
※ 初めて起動する際には「使用許諾書」が表示されますので、「同意する」で使用可となります

※インストールにより作成されるフォルダ(標準設定の場合)

内 容	保管場所	フォルダ名
各ツールのデータ	マイドキュメント	E1 ツールボックス
ボックスの設定情報等	Cドライブ	E1 ツールボックス
プログラム本体 他	Cドライブ	E1Project Common Files

1. 本ソフトはMicrosoft Excelのドキュメントをアプリケーション化する**ツールボックス**というシステムで作成されています
2. 複数のツール(ソフト)をボックスにまとめて利用でき、更に複数のボックスを使い分けることも可能としています
3. システムを完全にアンインストールする際は、お手数ですが上記3つのフォルダを手動にて削除してください

不動産コンサルティングの工具箱 「工具箱」の使用方法



- 1 プログラムが起動すると
まず左の画面が表示されます
- 2 ご使用になるツール名をクリックすると
個別のツール(ソフト)が起動します
- 3 「フォルダの設定」ボタンをクリックすると
データフォルダの格納場所を変更する
ためのダイアログが開きます
(特に変更しない場合は操作不要)
- 4 「終了」ボタンで終了します

・個別ツールのリスト画面



- 1 個別のツールが起動すると
まず左の画面が表示されます
- 2 サンプルデータが格納されていますが
これは編集、削除が可能です
- 3 リストの見出しの項目をクリックすると
データの並べ替えを行います
- 4 データを選択してください
(クリックすると青く表示されます)
- 5 操作はリスト下部のボタンで行います

ボタンの機能

削除	リストから該当データを削除します
リストの編集	リストボックスが開き、リスト画面の内容の書換ができます
コピーして作成	既存のデータをコピーして、別のデータとして保存します 同一顧客のBプラン作成、新規の類似案件等に使用します
新規作成	新しくデータを作成する場合に使用します
編集・表示	リスト内のデータを選択して表示させることができます 変更を加えた場合は、データが書換えられます



→ この枠内のボタンから、PDF形式のマニュアルを閲覧できます

不動産コンサルティングの道具箱「道具箱」の使用方法-2

ご使用にあたっての注意事項について

1. USBに“Rockey4”(付属のスティック状のキー)を装着しないと作動しません

Rockey4 はソフトウェアをプロテクトするための特殊な装置です
ソフト使用時にはRockey4を装着する必要があります

お使いの複数のPCへインストールできます。(職場、自宅、ノートブックetc.)
アンインストールはフォルダを削除するだけで完了します

2. プリンターが正しく指定されているかご確認ください

印刷、印刷プレビューの機能を使用する際に、

- (1)印刷ダイアログボックスのプリンター欄が空白
- (2)印刷実行時にプリンター、プリンター・サーバの電源がOFF

これらの場合、Windowsによりプログラムが停止させられる場合があります

→ 本マニュアルの「トラブル発生時の対処方法」をご参照ください

3. レーザプリンターの高速印刷モードでは正常に印刷されません

高速印刷モード時にフォントの置換等を行うタイプのプリンターでは、高速印刷を選択しないで下さい

4. 本ソフト使用時は、他のエクセルのドキュメントを開くことはできません

本ソフト使用時には、他のドキュメントを開くことは原則としてできないようプログラムされています

→ 本マニュアルの「トラブル発生時の対処方法」参照

5. エラーが発生した際に、エクセルが正しく終了されない場合があります

本ソフトはプログラムがエクセルの起動と終了を制御していますが、プログラムに何らかのエラーが発生して停止するとエクセルを終了させる命令が実行されない場合があります。この場合、モニターではエクセルは表示されなくとも、Windows上のプロセスに残るため障害が発生します。

→ この場合はお手数ですがタスクマネージャーの「プロセス」に「EXCELE.EXE」が表示されているかを確認し、表示されていれば「プロセスの終了」により停止させてください。

(なお、簡単な方法としてはパソコンを再起動すれば問題なく回復します)

トラブル発生時の対処法について

予想されるトラブルとして、次のものがあります

- 1 リストへ戻る のボタンをクリックしても、反応しない。他のボタンもロックされてしまい、完全にストップするケース。

発生の可能性 が高い状況	印刷実行時
	印刷プレビュー起動時
	シートへの入力不完全なままリストへ戻ろうとした場合
	計算速度の遅いコンピューターを使用している場合
原因	本ソフトは、プログラムとExcelの間に頻繁に通信を行っています。 プリンター起動時のトラブル(電源が入っていない、プリンター・サーバとの通信エラーetc.)が発生した場合にWindowsが 実行中のアプリケーション一時的に停止させるため、プログラム・Excel間の通信エラーが発生します。 また、演算実行中に別の命令を実行しようとした場合も、エラーが発生する可能性があります。
対処方法	モニター最下段のタスクバーの「工具箱」をクリックして下さい。 Windowsのエラーメッセージが表示されていたら、「再試行(Retry)」ボタンをクリックして下さい 元の復帰します。

- 2 プレビュー画面から戻れないケース

発生の可能性 が高い状況	印刷ダイアログボックス内の「印刷プレビュー」ボタンを使用した場合
対処方法	キーボードの「 Esc 」ボタンを押してください

- 3 同時に他のExcelのファイルをダブルクリックで開こうとすると、強制的に終了させられる

原因	ソフトの構造上、同一のExcel上で他のドキュメントを開くことは制限しています
対処方法	ディスプレイ下部の「スタート」ボタンから、新たにExcelを起動してください 新しく開いたExcelの画面から「ファイル」→「開く」でドキュメントを開いてください (新しく開いたExcelの画面上へアイコンをドラッグしても開きます) 但し、PCのメモリーを消費しますので計算速度の低下やエラーの発生する可能性があります